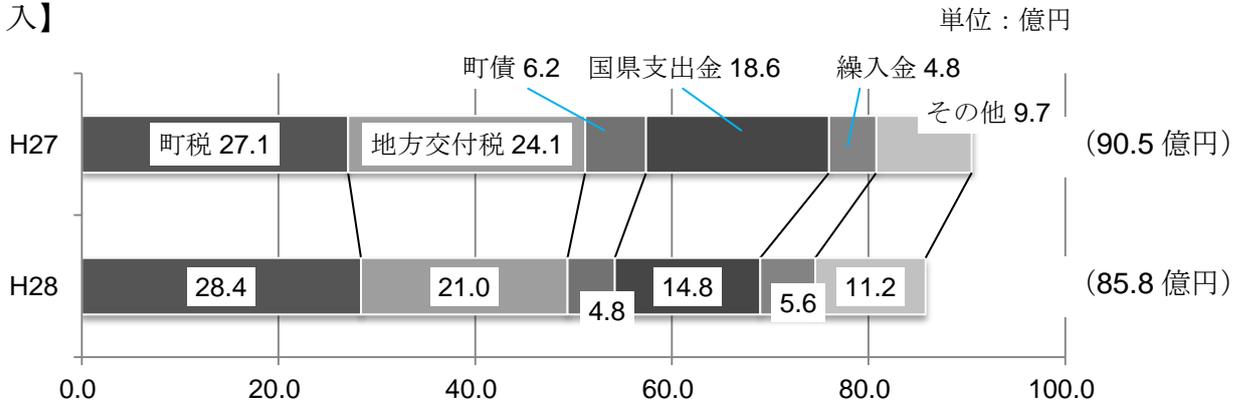


I 平成 28 年度金ヶ崎町一般会計の決算及び今後の課題について

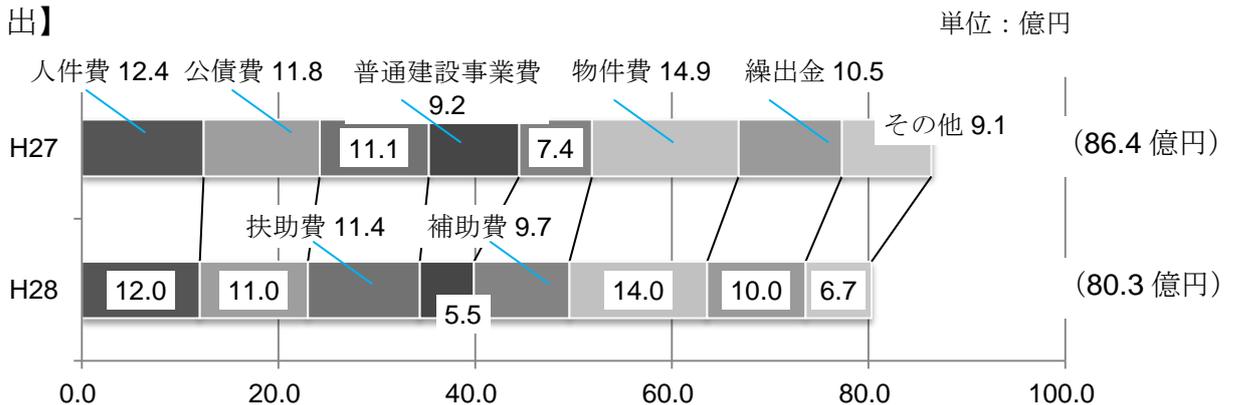
1 平成 28 年度一般会計決算の概要

【歳入】



町民税及び固定資産税の増により町税が 1.3 億円増加しました。また、普通交付税、特別交付税がともに減となり地方交付税が 3.1 億円減少しました。このほか、道路事業及び利用自粛牧草処理円滑化事業の縮小等により国県支出金が 3.8 億円減少しました。

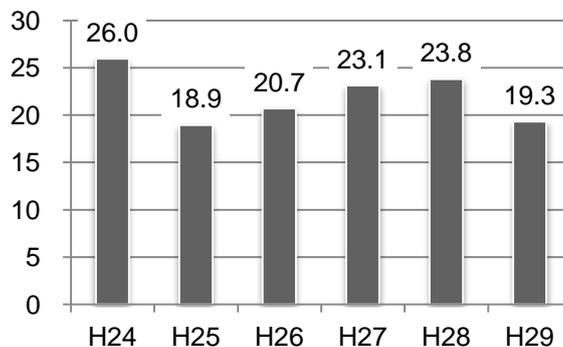
【歳出】



町道南花沢・前野線及び荒巻・東町線の整備完了に伴い普通建設事業費が 3.7 億円減少しました。地域密着型特別養護老人ホーム整備事業等により補助費等が 2.3 億円増加しました。社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）対応のための各種システム改修業務の完了に伴い物件費が 0.9 億円減少しました。

【財政調整基金残高の推移】

単位：億円



※H24～H28 は決算数値、H29 は 9 月補正後数値

金ヶ崎町 28 年度
一般・特別会計決算
実質収支 6 億円の黒字

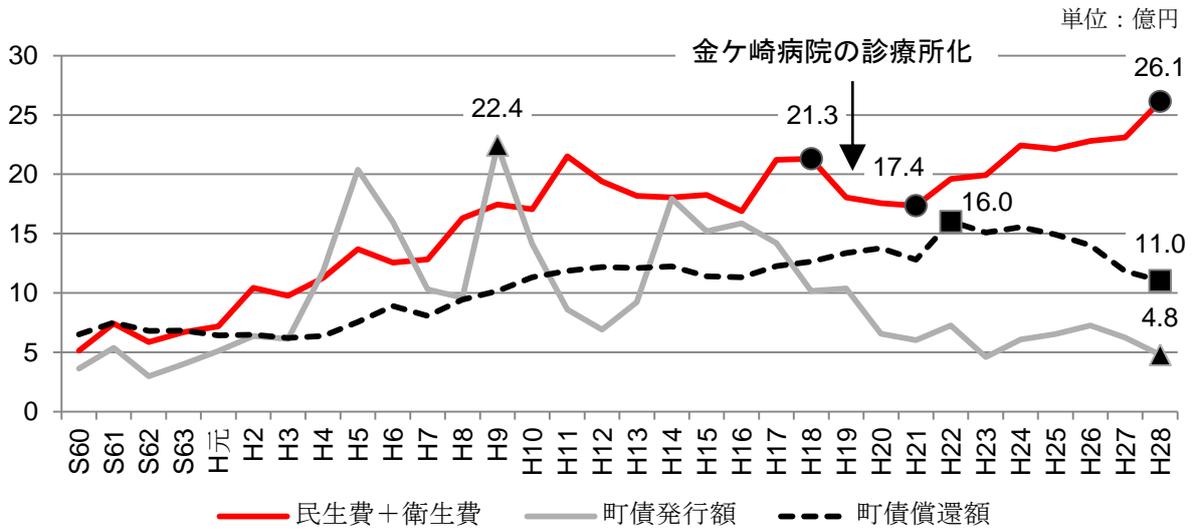
29 年度一般会計
6.9 億円の貯金を
取り崩して予算編成

25 年度のような企業税収
の変動に対応するには
10 億円の備えが必要

決算剰余金を積み立て、
19.3 億円まで戻した。
もう少し積み立てて
将来に備えたい。

2 金ヶ崎町の現状と今後の課題

【昭和 60 年度以降の地方債発行額、償還額及び社会保障関係経費の推移】



出所：決算統計

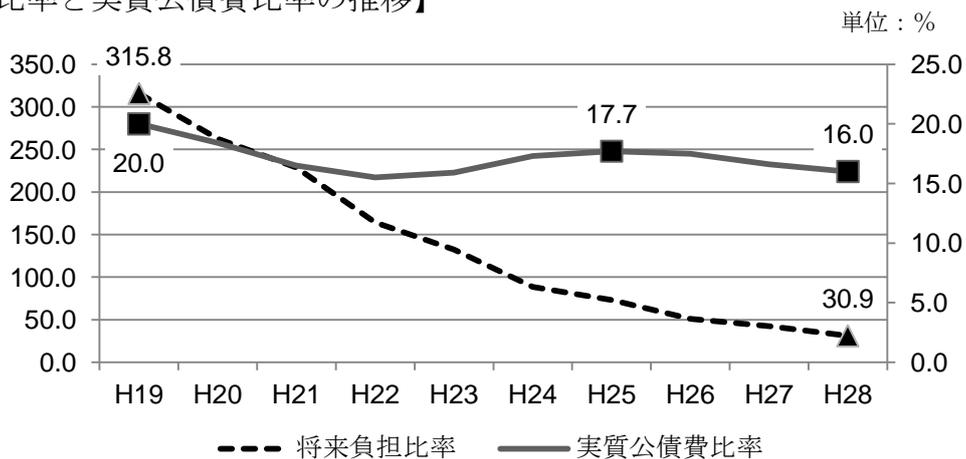
地方債の発行額抑制の成果が見え始めています。地方債償還額が減少しました。今後も地方債償還額は減少する見通しです。

一方で、民生費及び衛生費といった社会保障関係経費の増加が目立ちます。少子高齢化の中、社会保障関係経費は今後も増加する見通しです。

このほか、新診療所建設費用として借入した病院事業債の償還が本格的に始まるH30年度以降、衛生費が増加する見通しです。

3 財政健全化判断比率の推移

【将来負担比率と実質公債費比率の推移】



出所：財政健全化判断比率

財政健全化の成果として、将来負担比率は大きく改善しました。また、実質公債費比率も減少に転じ、財務体質が改善しています。